



文化財活用センター事業報告書 2021年度



〈ぶんかつ〉ミッション

文化財を1000年先、2000年先の未来に伝えるために

文化財は、長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた人類のたからものです。私たちは、文化財を通して、それをつくり、つかった人びとの暮らし、大切にしてきた思い、美しいと感じる場所に触れ、歴史やそこに流れる伝統的な価値観を学ぶことができます。それは、私たちがお互いを尊重し、豊かな人生を生きるための糧であり、新たな文化を創造する源になります。



この人類のたからものである〈文化財〉を1000年先、2000年先の未来に伝えることは、今を生きる私たちに課された重要な使命です。

文化財活用センター〈ぶんかつ〉は、あらゆる地域で、子どもから大人まですべての人びとが、日本の文化財に親しみ、身近に感じることができるよう、文化財の活用に関する新たな方法や機会を開発し、情報基盤の整備を目指します。これまでミュージアムを利用する機会に恵まれなかった人を含め、多くの人びとが、文化財を通して豊かな体験と学びを得ることができるよう、文化財を活用した新たなコンテンツやプログラムの開発を行います。

文化財に関わるすべての人びとが、自ら発案し、その力を発揮する機会をつくるとともに、人材育成に取り組み、地域の活性化にも寄与します。

〈ぶんかつ〉ビジョン

ミュージアムに関わる人はもちろん、一般市民も、企業やさまざまな社会的団体も、すべての人びとが、文化財を「守り」「伝える」ために、考え、参加する社会を作ります。



ご挨拶

2018年7月、独立行政法人国立文化財機構に設置された文化財活用センター〈ぶんかつ〉は、2021年に設立から3周年の節目を迎えました。

〈ぶんかつ〉は、文化財の保存と活用の両方に留意しながら、本物の文化財やそこから生まれたデジタルコンテンツ、文化財に関連する様々な情報などに触れ、文化財を通じた心躍る経験と学びの機会を多くの方々に提供することをミッションに掲げ、さまざまな活動を行っています。

本報告書は、2021年度に実施した事業について、その概要と成果を記録、公開することを目的として制作しました。

2021年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けながらも、これまでに培われた実績を生かして活発に事業を展開しました。機構内の国立博物館や文化財研究所をはじめ、民間企業、地域のミュージアム等の協力を得て、最新のテクノロジーを用いた文化財体験の提供のみならず、〈ぶんかつ〉設立以前から、長年各地で地道に続けられてきた事業の継続と発展に尽くしました。

また、初めて手掛けたファンドレイジング事業「〈冬木小袖〉修理プロジェクト」には、広く一般の方々からも予想を超える篤いご支援を頂戴したところです。

〈ぶんかつ〉の活動にご協力いただいている関係機関、関係者の皆様、〈ぶんかつ〉が実施した各種事業にご参加・ご賛同いただいた多くみなさまに、あらためて心より感謝申し上げます。

設立より3年にわたる事業活動を通じて、〈ぶんかつ〉が少しずつ文化財活用のナショナルセンターとして認知されていくとともに、機構内外からさまざまな要望も届くようになり、〈ぶんかつ〉の活動に対する期待はますます高まってきていると感じております。本報告書により、改めて昨年度の事業を振り返るとともに、今後の課題を整理し、更なる事業の展開を図ってまいります。

今後も引き続き、文化財をより身近に、「面白い!」「きれい!」「楽しい!」と感じていただけるよう、職員一丸となって尽力してまいります。常に「進化」し続ける〈ぶんかつ〉の取組にご期待ください。

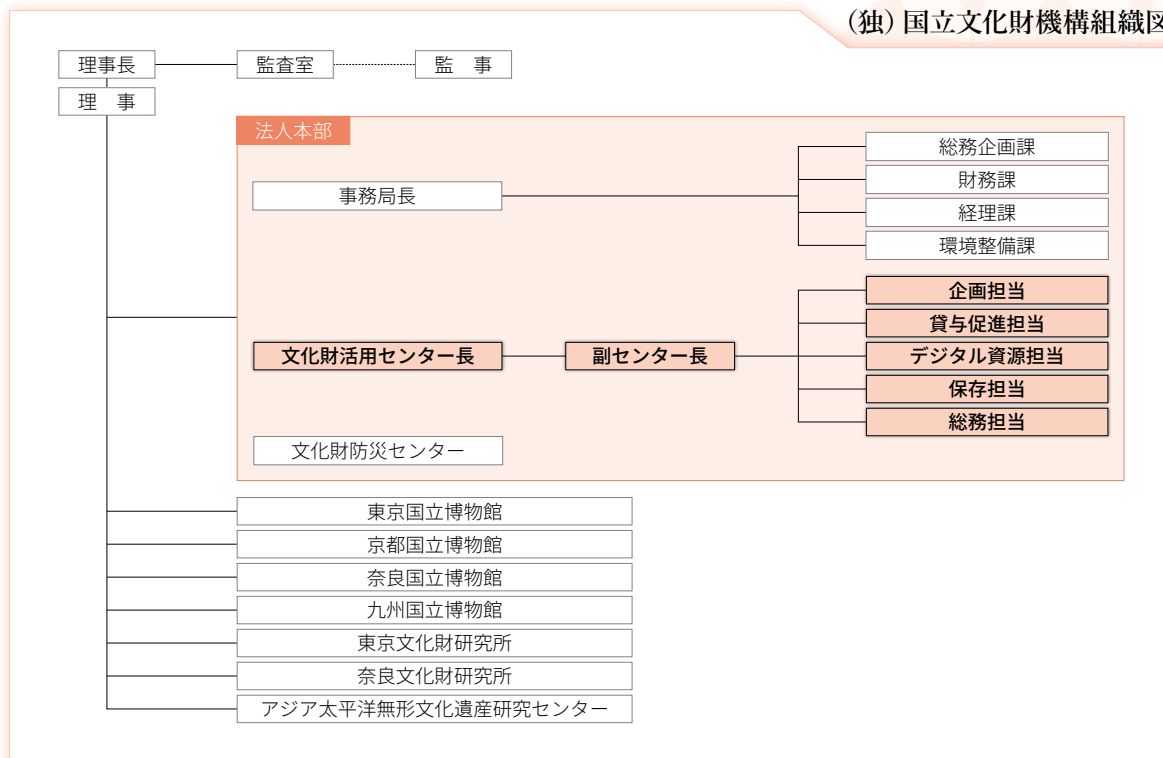


文化財活用センター長 旭 充

組織図

(2022年3月31日時点)

(独) 国立文化財機構組織図



概要

2021年度 地域の博物館への貢献と外部資金の獲得

文化財活用センター〈ぶんかつ〉は、2021年7月に発足から3周年を迎えた。2021年度は、前年度に引き続きコロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けたが、「1人でも多くの人に文化財に親しむ機会を提供する」というミッションにそって、機構内連携の強化、地域の博物館や学校への貢献、外部資金の獲得など主な課題について着実に実りを得た1年であった。

■最新テクノロジーの活用による新しい文化財体験の実現

2021年6月、東京国立博物館本館に常設の体験型展示「日本美術のとびら」を開設。高精細複製品やデジタルコンテンツによるインタラクティブな文化財体験を提供している。9月～11月に開催したアイドルグループとのコラボレーション企画「春夏秋冬／フォーシーズンズ 乃木坂46」では、若年男性を中心に新規来館を促進した。さらに、8Kで文化財「みほとけ調査」、「ふれる・まわせる名茶碗」の開発・公開では、文化財への新しいアプローチを提案した。これらの事業では、さまざまな企業の協力も得られ、ぶんかつの提唱する新しい文化財体験の方向性が確立してきたと言えるだろう。

■地域の博物館、学校への貢献

貸与促進事業では5施設に計89件の文化財の貸与ならびに展示会の支援を行った。大規模貸与を行った佐賀県立美術館では、開催館の積極的な提案により効果的な広報を展開。今後の方向性を示す好事例となった。

文化財の保存環境に関する相談・助言・支援も年間で163件に及んだ。また、これまで東京文化財研究所と共同で年1回開催していた博物館・美術館等保存担当学芸員研修は、対象を初学者と経験者に分け、ぶんかつが初学者を担当し年2回開催とした。その結果、定員の5倍の応募があったが、感染症の影響で夏の開催は中止、2022年1月のみ開催された。

「ぶんかつアウトリーチプログラム」も申込件数は増加したが、感染症の影響で中止が相次ぎ12件が実施された。実施経験やアンケート結果を踏まえたプログラムの改訂・新規開発も進行中。今後の課題はマンパワーの確保であろう。

また、前年度に引き続き文化庁「地域ゆかりの文化資産地方展開促進事業」のコンテンツ制作事業を受託し、4施設に様々なコンテンツを提供した。「なりきり美術館」シリーズの巡回も山口県で実施され、ぶんかつ発足以来計5回に及んだ。

地域の博物館との連携事業は、3年目を迎え定着してきたと言えるだろう。

■外部資金の獲得とシンポジウムの開催

外部資金の獲得においても大きな進展がみられた。東京国立博物館と共同で行ったプロジェクトは、当初の予定を大幅に前倒しするかたちで寄附目標額を達成。機構全体の寄附ポータルサイトも、画面構成の改善、銀行振込への誘導、遺贈にかかる情報の新規掲載など、リニューアルを実施した。2022年3月には、ぶんかつ3周年を記念してファンドレイジングをテーマにシンポジウムを開催。シンポジウムでは、自らの資金獲得にとどまらぬナショナルセンターとしての事業のあり方を問う声も寄せられ、今後の方向性についてのさらなる検討を進めているところである。

■機構内連携の推進

ぶんかつの各事業への各館各施設の参加や協力は年々活発になっており、機構内の連携は着実に強化されている。特に、デジタルアーカイブについては、作品種別情報の改訂、e国宝のIIIF(トリプルアイエフ)への対応など密に意見を交わしつつ進めることができた。しかし、膨大な収蔵品データ制作について、達成までの道のりはまだまだ遠い。機構内の意識改革を図りつつ連携を強化し、デジタル資源の拡充と利用の促進を図りたい。

■今後の課題

文化財活用のナショナルセンターとして、地域の博物館等への貢献がより求められている。3年半の事業実績によって培われたネットワークと信頼を糧に、地域の活性化に寄与すべく、より広い視野をもって文化財の活用に取り組んでいく必要があるだろう。

企画担当

企業等と連携して、先端的な技術を用いた高精細複製品やデジタルコンテンツを開発するとともに体験型展示企画を国立博物館ならびに地域の博物館で展開。これまでミュージアムを利用する機会がなかった方々を含め全国の多くの人びとが、文化財に親しみ、豊かな体験と学びを得ることを目指す。

実施事業数
6件

■ 体験型展示(レプリカ・映像活用)

2018年の発足から2020年度までの活動に引き続き、高精細複製品や映像等のデジタルコンテンツを使った体験型展示を東京国立博物館および地域の博物館で展開した。新規コンテンツの開発に際してはできるだけ非接触もしくは最小限の接触による体験展示となるよう設計し、新型コロナウイルス感染症対策を講じた。また、これまで古美術にふれる機会の少なかった方々や、博物館に来たことのない方々にも、文化財の魅力を感じてもらえる機会となることを意識し、親しみやすいコンテンツ制作に取り組んだ。

① 日本美術のとびら

トーハク新時代プラン レプリカ・VR・8K映像等を活用した新感覚の展示



会期 2021年6月22日(火)～

会場 東京国立博物館 本館特別3室

共催 東京国立博物館

概要 東京国立博物館(トーハク)本館に開室した、常設の体験展示スペース。トーハクに来ていただいたお客さまに、いちばん初めに訪れて体験してもらうための展示室。「とびら」のむこうに広がる展示室で、もっと文化財に親しめるよう
1. みる〈日本文化紹介映像〉
2. たのしむ〈日本美術のデジタル年表〉
3. かんじる〈高精細複製品〉 ※季節に合わせて展示替えを実施
の3つのコーナーを設置。どのコーナーでも、見て、体験することで、人から人へ受け継がれてきた文化財のすばらしさを体感できる内容としている。

【実施コンテンツ】

■ コーナー1:みる〈日本文化紹介映像〉

日本美術を知る旅のはじまりとして、映像「日本文化紹介映像 A GLIDE ON THE GREAT WAVE」(約8分)を上映。四季折々の風景や伝統行事を楽しむ人々のいとなみによって育まれてきた日本人の美意識が変わることなく受け継がれていることを映像によって体験する。

■ コーナー2:たのしむ〈日本美術のデジタル年表〉

横幅14メートルのスクリーンをいっぱいを使い、およそ1万2000年前の縄文時代から日本の美をデジタル年表で紹介。オープニングムービーの後、トーハクの代表的な16の作品がペーパーアートで表示され作品と連動したわくわくポイントに乗ると作品がポップアップされ、動かしたり拡大してみることができる、非接触型の体験展示。インタラクションによって、作品を知ることができる。

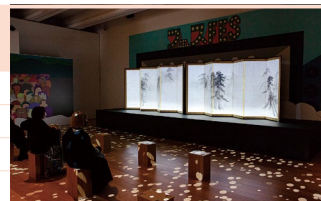
■ コーナー3:かんじる〈高精細複製品〉

2つの高精細複製品をガラスケースなしで展示し、複製品に近づき細部までじっくり見ることによって、そこから広がる景色や空間、音や季節などを想像することを楽しむ体験展示。

評価 レプリカや最新映像技術等を活用した体験型プログラムを展開。3つのコーナーで体験的に知ることで、インバウンドを含めた新規来館者への導入的な役割を果たしている。

② びじゅチューン!×OPAM なりきり美術館

なりきり日本美術館(2018年・2020年トーハク開催)の地方巡回1



会期 2021年2月19日(金)～5月9日(日)(77日間)

会場 大分県立美術館 1階アトリウム、3階展示室B、コレクション展示室

体験者数 18,368人

アンケート 満足度:88.1%(とてもよい、よい) ※～2021年3月13日までの集計

共催 びじゅチューン!×OPAM なりきり美術館実行委員会、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館、NHK大分放送局

受託 文化庁「令和2年度地域ゆかりの文化資産地方展開促進事業(先端技術を活用した文化資産コンテンツ制作プロジェクト)」

概要 2018年「トーハク×びじゅチューン!なりきり日本美術館」の4コンテンツ(神奈川沖浪裏/大橋あたけの夕立/見返り美人図/麗子微笑)、及び2020年「トーハク×びじゅチューン!なりきり日本美術館リターンズ」で公開した2コンテンツ(風神雷神図・夏草草図/松林図)を、OPAM開館5周年事業の一環として大分県立美術館にて実施した。(2020年度からの継続事業)

評価 過去最大の6コンテンツを展開。体験型コンテンツと関連する実物文化財を同じ空間に配置する新たな展示手法を試み、家族連れや若年層の来館促進に寄与することができた。

③ びじゅチューン!×山口ゆめ回廊博覧会 なりきり美術館

なりきり日本美術館(2018年・2020年トーハク開催)の地方巡回2



会期 2021年7月16日(金)～8月22日(日)(38日間)

会場 NHK山口放送局、山口情報芸術センター[YCAM]

体験者数 6,658人

共催 山口市、NHK山口放送局

概要 2018年「トーハク×びじゅチューン!なりきり日本美術館」の4コンテンツ(神奈川沖浪裏/大橋あたけの夕立/洛中洛外図屏風(舟木本)/麗子微笑)、及び2020年「トーハク×びじゅチューン!なりきり日本美術館リターンズ」で公開した1コンテンツ(八橋時絵螺鈿硯箱)をNHK山口放送局・山口情報芸術センター[YCAM]の2会場で展開した。

評価 山口県連携都市圏域の魅力発信するイベント「山口ゆめ回廊博覧会」にあわせて開催。コンテンツや関連イベントを通じて山口ゆかりの作品に親しむ機会を創出し、地域ミュージアムの活性化に寄与した。

④ 8Kで文化財 国宝「聖徳太子絵伝」

国宝「聖徳太子絵伝」を、大型8Kモニターで鑑賞するアプリケーションの再公開

会期	2021年7月13日(火)～9月5日(日)(49日間)
会場	東京国立博物館法隆寺宝物館 資料室
体験者数	6,187人
アンケート	満足度(展示全体):91.7%(とてもよい、よい)
共催	東京国立博物館



概要 国宝「聖徳太子絵伝」の高精細画像を、大型の8Kモニターに映し出すアプリケーション。鑑賞者の操作により、肉眼では見ることのできない絵の詳細を拡大することで、描かれた聖徳太子の表情まで確認することができる。〈8Kで文化財 国宝「聖徳太子絵伝」〉(2018、2019年度開発)を、平成館で開催する特別展「聖徳太子と法隆寺」の会期にあわせて再公開した。
 ・日本語・英語の2か国語対応
 ・国宝「聖徳太子絵伝」のみどころを凝縮したダイジェスト映像
 ・8Kアートビューアーの操作ガイドもあわせて上映

評価 特別展「聖徳太子と法隆寺」(平成館)と同時開催ということもあり比較的来館頻度の高い方の利用が多かったことがアンケートからうかがえる。本コンテンツの公開は3回目であり、またコロナ禍での実施でありながら、体験人数は1日平均100人以上と多く満足度も高かった。デジタルコンテンツによる、実作品ではかなわない文化財の鑑賞体験展示は、ミュージアムをよく利用する来館者層のニーズに応える役割を果たした。

⑤ 8Kで文化財 「みほとけ調査」(実証実験)

学芸員が作品を調査するように仏像を鑑賞できるコンテンツ

会期	2021年11月16日(火)～12月5日(日)(18日間)
会場	東京国立博物館法隆寺宝物館 資料室
体験者数	1,239人
アンケート	満足度:93.2%(とても楽しかった、楽しかった)
共催	東京国立博物館、シャープ株式会社



概要 8Kの高精細3D画像が体験者の動きに連動し、まるで目の前で仏像と向き合っているかのような鑑賞体験を実現。懐中電灯型の操作デバイスで光をあてると細部の様子が浮かび上がり、調査体験を楽しみながら作品への理解を深めることができる。

評価 鑑賞ビギナー向けにコンテンツを制作。アンケート結果では体験後に仏像への興味が増すなど、高い満足度を得ることができた。

⑥ 春夏秋冬／フォーシーズンズ 乃木坂46

日本美術と乃木坂46のコラボレーション、過去と現代を結ぶ展覧会

会期	2021年9月4日(土)～11月28日(日)(75日間:事前予約制)
会場	東京国立博物館 表慶館
体験者数	58,461人
アンケート	展示満足度:95.3%(とてもよい、よい) 映像満足度:97.1%(とてもよい、よい) 解説満足度:86.5%(とてもよい、よい)



共催 東京国立博物館、ソニー・ミュージックエンタテインメント、文化庁、日本芸術文化振興会

連携企業等 コンテンツ制作:ソニー・ミュージックエンタテインメント、制作協力:NHKプロモーション、中山マネジメント

概要 古来、日本に暮らす人々は、身近な自然への想いを生活の中で育み、和歌や絵などに表現してきた。その世界観は今も変わらない。本展は、春夏秋冬の花があらわされた日本美術(高精細複製品等)と乃木坂46のメンバーを花に見立てた映像インスタレーションにより、日本の人々が花に託した造形の本質を、季節を巡りながら示される。乃木坂46と日本の文化、我々が生きる日常や自然が、地球の存在であることを実感していただく。

評価 日本美術(高精細複製品等)と乃木坂46の映像インスタレーション(本展オリジナル)を組み合わせた7つのコーナーで構成。アンケートでは、全体の来場者の約40%が20代であり、また約70%の来場者が東京国立博物館にはじめて訪れたと回答し、他の展覧会よりも高い数値となった。これまでミュージアムを利用する機会がなかった方々、とくに日本美術や博物館に関心の薄い若年層の来館のきっかけとなった。

レプリカ・VR等の製作・展開

複製:13件 その他:11件

合計
24件

企業や各種団体と連携して、先端的な技術による文化財の複製の製作、照明効果や映像、8Kなどの最先端技術を用いたデジタルコンテンツの開発・展開を継続して行った。コロナウイルス感染拡大防止のため、展示室での体験型企画においては、非接触型の体験を目指した。さらにQRコードによる作品解説へのアクセスや展示内容のSNS配信などオンラインによる情報発信も意識し、コンテンツ開発を行った。



	材質・技法	制作	備考
絵画 国宝「檜図屏風」狩野永徳筆	和紙に印刷・金箔	キヤノン	※1
国宝「洛中洛外図屏風(舟木本)」岩佐又兵衛筆	和紙に印刷・金箔	キヤノン	※1
「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」葛飾北斎筆 複製及び摺り工程見本	和紙に木版印刷	アダチ版画	
国宝「楼閣山水図屏風」池大雅筆	和紙に印刷・金箔	キヤノン	※1、※2
重文「山野行楽図屏風」与謝蕪村筆	和紙に印刷	キヤノン	※1、※2
国宝「秋冬山水図」雪舟等楊筆	和紙に印刷	キヤノン	※1、※2

考古			
重文「遮光器土偶」	樹脂製	凸版印刷	ハンズオンレプリカ 2点 ※2
重文「遮光器土偶」前後分割版	樹脂製	凸版印刷	ハンズオンレプリカ 2点 ※2
重文「みみずく土偶」	樹脂製	凸版印刷	ハンズオンレプリカ 2点 ※2
「土偶(上黒駒)」	樹脂製	凸版印刷	ハンズオンレプリカ 2点 ※2
重文「みみずく土偶」	土製	大塚オーミ陶業	ハンズオンレプリカ 2点 ※2
彫刻			
「阿弥陀如来立像(裸阿弥陀)」	樹脂製	京都科学	
工芸			
重文「蘆屋楓流水鶏図真形釜」	金属製	芦屋釜の里	
デジタルコンテンツ			
「床の間」で鑑賞する国宝掛軸の高精細複製	映像・体験型		使用複製: 国宝「秋冬山水図」(都城市立美術館で公開) ※2
屏風作品の高精細レプリカと照明演出による新たなプログラム展開	映像・体験型	プロトタイプ	使用複製: 国宝「楼閣山水図屏風」、重要文化財「山野行楽図屏風」(名古屋博物館で公開) ※2
8K映像と茶碗型ハンズオンレプリカによる新しい鑑賞体験	映像・体験型	シャープマーケティングジャパン	8Kで文化財「ふれる・まわせる名茶碗」2021 ※2
「日本美術のとびら」	映像・体験型	凸版印刷	複製・映像を使用した常設の体験型展示スペース。東京国立博物館で公開。 日本文化紹介映像、非接触体験展示「日本美術のデジタル年表」、高精細複製品(重要文化財「風神雷神図屏風・夏秋草図屏風」、国宝「松林図屏風」)ほか。
「春夏秋冬／フォーシーズンズ 乃木坂46」	映像・体験型	ソニー・ミュージックエンタテインメント	乃木坂46と日本美術のコラボレーションによる映像インスタレーション 使用複製: 国宝「花下遊楽図屏風」、「焔」、重要文化財「風神雷神図屏風・夏秋草図屏風」、重要文化財「秋草図屏風」、「見返り美人図」、重要文化財「四季花鳥図屏風」、重要文化財「振袖 白縮緬地梅樹衝立鷹模様」。東京国立博物館で公開。※日本博主催・共催型プロジェクト事業
8Kで文化財「みほとけ調査」	映像・体験型	シャープ・シャープマーケティングジャパン	実証実験公開
東京国立博物館・NHKの共同研究「みんなの8K文化財」プロジェクト8K文化財コンテンツ	映像・体験型	NHK	国宝「救世観音」、重文「櫻鳥糸肩赤威胴丸」、重文「能面 伝山姥」、「能面 小面」のコンテンツを作成、東京国立博物館で公開。 ※文化財活用センターはマネジメントを担当
VR等			
「洛中洛外図屏風 舟木本」	VR映像	凸版印刷	TNM&TOPPANミュージアムシアター
「鳥獣戯画 超入門!」	VR映像	凸版印刷	TNM&TOPPANミュージアムシアター
「法隆寺 国宝 金堂一聖徳太子のころ」	VR映像	凸版印刷	TNM&TOPPANミュージアムシアター
「空海 祈りの形」	VR映像	凸版印刷	TNM&TOPPANミュージアムシアター
「国宝 松林図屏風一乱世を生きた絵師・等伯一」	VR映像	凸版印刷	TNM&TOPPANミュージアムシアター

※1…共同研究プロジェクトに基づく製作 ※2…文化庁受託事業

複製活用事業

文化財の複製を博物館・美術館・企業等に貸し出した。また、複製品を活用したアウトリーチプログラムについては、新型コロナウイルス感染症拡大のため、残念ながら予定されていたプログラムのうち11件が中止となったが、開催したプログラムにおいては東京国立博物館と共同で、小中高等学校の児童生徒を対象に実施し、学校からも高い評価を得ることができた。あわせて、教員のための研修も実施。幅広く展開することができた。

貸出件数
10件

① 複製貸出事業

美術館・博物館に、展示を目的とした複製品の貸出およびデジタルコンテンツの貸出、企業に商用使用による貸出を行った。

● 複製品貸出 (5件のうち、有料1件)

- 2021年5月～12月 遮光器土偶など (十日町博物館)
- 2021年5月～8月 歌舞伎図屏風 (キヤノン)
- 2021年5月 四季花鳥図屏風 (みずほ銀行オンラインイベント)
- 2021年10月 冬木小袖 (東京美術倶楽部)
- 2022年12月 遮光器土偶 (日経映像)

● デジタルコンテンツ貸出 (5件のうち、有料2件)

- 2021年2月～5月 大分県立美術館 (なりきり美術館を開催)
- 2021年7月～8月 NHK山口放送局・山口情報芸術センター[YCAM] (なりきり美術館を開催)
- 2021年4月～6月 奈良国立博物館 (紹介映像 国宝「聖徳太子絵伝」を公開)
- 2021年6月～11月 セインズバリーセンター・イーストベイエリア(イギリス) (紹介映像 国宝「聖徳太子絵伝」を公開)
- 2022年3月～5月 TEPIA 先端技術館 (8Kで文化財「ふれる・まわせる名茶碗」)



土偶ハンズオンレプリカの展示
(十日町市博物館)

② 教育プログラムの提供

東京国立博物館と共同で「ぶんかつアウトリーチプログラム」を12件実施した。(うち講師派遣あり7件、なし4件、その他1件)。また、2020年度の報告書を刊行した。



三重県立四日市高等学校	見て、感じて、楽しむ松林図屏風(オンライン)	108名(1年生 選択授業7クラス) 2021年5月20日(木)~21日(金) ※講師の解説のみオンラインで実施
京都府立西城陽高等学校	絵で読む平家物語(講師派遣なし)	43名(高校1年生~3年生 総合的な探求の時間) 2021年6月9日(金)
足立区立西保木間小学校	自分だけの松林図屏風を作ってみよう!	31名(6年生) 2021年7月2日(金)
平安女学院中学・高等学校	自分だけの松林図屏風を作ってみよう!(講師派遣なし)	205名(中学1年生~3年生 美術) 2021年7月10日(土)
福井市立郷土歴史博物館	絵で読む平家物語(講師派遣なし)	各回15名(4回実施) 2021年10月8日(金)
京都府立福知山高等学校・附属中学校	見て、感じて、楽しむ松林図屏風(講師派遣なし)	約500名(中学校全学年、高等学校1年) 2021年10月19日(火)
青森県総合学校教育センター	見て、感じて、楽しむ風神雷神/夏秋草図屏風、遮光器土偶たち(教員研修)	10名(青森県内の教員) 2021年10月26日(火)
東京都立つばさ総合高等学校	自分だけの松林図屏風を作ってみよう!	15名 2021年11月15日(月)
板橋区立向原小学校	自分だけの松林図屏風をつくってみよう!	70名(5年生1クラス、6年生1クラス) 2021年11月20日(土)
世田谷区立玉川中学校	絵で読む平家物語	120名(中学校2年生4クラス) 2021年12月1日(水)
葛飾区立川端小学校	自分だけの松林図屏風をつくってみよう!	55名(5年生2クラス) 2021年12月11日(土)
聖ヨゼフ学園小学校	見て、感じて、楽しむ松林図屏風	149名(4年生2クラス・6年生2クラス) 2022年1月13日(木)

③ 文化庁受託事業

国立文化財機構が有する文化財について、高精細複製等の先端技術を活用したコンテンツを制作・整備等し、各地域の博物館等の効果的な場所において展示等を行うことにより、来館満足度の向上や地域の活性化を目指す、文化庁受託事業「地域ゆかりの文化資産地方展開促進事業(先端技術を活用した文化資産コンテンツ制作プロジェクト)」において、ぶんかつの提案が採択され、下記4館にコンテンツを提供・公開した(受託費:約14,500万円)。

(1) 名古屋市博物館	<p>【屏風作品の高精細レプリカと照明演出による新たなプログラムの展開】 屏風作品の高精細複製品を制作し、畳を広げた空間に露出展示。また照度を時間で調整できる照明装置を使用し、描かれた当時の人々が見た自然光や蠟燭の灯りに近いライティングでの鑑賞を体験いただいた。 ・国宝「楼閣山水図屏風」(池大雅筆 江戸時代・18世紀) ・重要文化財「山野行楽図屏風」(与謝蕪村筆 江戸時代・18世紀) ※国立文化財機構とキャンノン株式会社による「高精細複製品を用いた日本の文化財活用のための共同研究」の一環として活用</p> <p>高精細複製品と照明演出による新たな鑑賞体験の様子▶</p>	
(2) 愛知県陶磁美術館	<p>【映像と茶碗型ハンズオンレプリカによる新しい鑑賞体験】 茶碗鑑賞デジタルコンテンツの制作(8Kで文化財「ふれる・まわせる名茶碗」2021) 重要美術品「大井戸茶碗 有楽井戸」、重要文化財「青磁輪花茶碗 銘 馬蝗絆」、「志野茶碗 銘 振袖」、「黒楽茶碗 銘 尼寺」(いずれも東京国立博物館所蔵)、「黄瀬戸胴紐茶碗」(愛知県陶磁美術館所蔵)、重要文化財「油滴天目」(九州国立博物館所蔵)の高精細CGによる体験型デジタルコンテンツ</p> <p>茶碗鑑賞デジタルコンテンツ体験の様子▶</p>	


<p>(3) 都城市立美術館</p>	<p>【「床の間」で鑑賞する国宝掛軸の高精細複製】 室町時代からの伝統的建築様式である「床の間」で、東京国立博物館が所蔵する国宝掛軸の高精細複製をご覧いただく鑑賞プログラム。障子の向こう側には色とりどりの四季の映像を添え、映し出される春夏秋冬の風景によって、作品の見え方がどのように変化するのを感じながら鑑賞いただく。 ・国宝「秋冬山水図」(雪舟等楊筆 室町時代・15世紀末～16世紀初) ※国立文化財機構とキャノン株式会社による「高精細複製品を用いた日本の文化財活用のための共同研究」の一環として活用</p>
<p>(4) 十日町市博物館</p>	<p>【土偶ハンズオンレプリカを使用した文化財資料の新たな活用】 原寸大の重量を合わせた精巧な複製(土製/樹脂製)を制作した。そのうち、重要文化財「遮光器土偶」はCT計測データも用いて、中空になっている土偶の内側の制作跡まで再現し、前後で分割して内側の鑑賞を可能にした。 ・重要文化財 遮光器土偶(青森県つがる市木造亀ヶ岡出土 縄文時代・前1000～前400年) ・重要文化財 みみずく土偶(埼玉県さいたま市岩槻区真福寺出土 縄文時代・前2000～前1000年) ・土偶(山梨県御坂町上黒駒出土 縄文時代中期・前3000～前2000年)</p>

● 評価


高精細複製等の先端技術を活用し、体感的に日本文化を発信した本事業では、来館者・体験者から高い評価を得ることができ、展示満足度や作品理解度の向上に貢献できた。

■ 企業との連携


企業との連携により、先進的な技術を使った文化財活用方法の開発、複製品やデジタルコンテンツの制作を行うとともに、その成果の公開を進めた。

<p>事業名称</p>	<p>「高精細複製品を用いた日本の文化財活用のための共同研究プロジェクト」</p>	
<p>連携開始</p>	<p>2018年</p>	
<p>参加事業者</p>	<p>キャノン</p>	
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高精細複製品利用による、文化財に親しむ機会の拡大と文化財についての理解促進 ・教育プログラムを実施するファシリテーターなど、文化財の活用に係る人材の育成 ・高精細複製品について、原本の再現性、耐久性、活用の際の利便性の向上 	
<p>活動概要</p>	<p>高精細複製品制作：5件、キャノンの参加する縦プロジェクトからの高精細複製品寄贈：1件</p>	

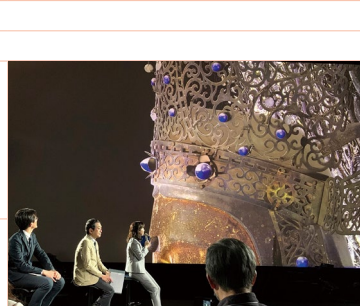
国宝「檜図屏風」高精細複製の色校正作業 ▲

<p>事業名称</p>	<p>「バーチャルリアリティに関する共同プロジェクト」</p>	
<p>連携開始</p>	<p>2018年</p>	
<p>参加事業者</p>	<p>凸版印刷・東京国立博物館</p>	
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術による文化財に親しむ機会の拡大と文化財についての理解促進 ・デジタル技術を活用した文化財の鑑賞方法の開発 	
<p>活動概要</p>	<p>VR作品監修：5件</p>	

VR作品「鳥獣戯画超入門」チラシおよび上映の様子(東京国立博物館 TNM&TOPPANミュージアムシアター) ▲

<p>事業名称</p>	<p>「8Kモニターを用いた文化財の活用方法の開発に関する共同研究プロジェクト」</p>	
<p>連携開始</p>	<p>2019年</p>	
<p>参加事業者</p>	<p>シャープ株式会社・シャープマーケティングジャパン株式会社</p>	
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・8Kモニターを活用した文化財に親しむ機会の拡大と文化財についての理解促進 ・8Kモニターを活用した文化財の鑑賞方法の開発と実証実験 	
<p>活動概要</p>	<p>コンテンツの開発と公開：1件 8Kで文化財「みほとけ調査」の実証実験の実施(東京国立博物館)</p>	

開発コンテンツ8Kで文化財「みほとけ調査」の実証実験(東京国立博物館 法隆寺宝物館) ▲

<p>事業名称</p>	<p>「東京国立博物館・NHK共同研究 「みんなの8K文化財」プロジェクト」</p>	
<p>連携開始</p>	<p>2020年</p>	
<p>参加事業者</p>	<p>NHK・東京国立博物館(マネージメント：文化財活用センター)</p>	
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最先端のスキャナーやフォトグラメトリ技術(多方向からの撮影した画像を3D化する技術)を使用した3DCG＝「8K文化財」の制作 ・「8K文化財」を活用した放送番組の制作と放映、展覧会などのイベント実施、情報通信ネットワークなどでの発表 ・制作した8K文化財コンテンツの活用 	
<p>活動概要</p>	<p>コンテンツ活用実績：49件 「8K文化財」コンテンツおよび関連番組の制作：3件、デジタル調査会の実施・放映：1件、コンテンツの公開(東京国立博物館)、ほか</p>	

東京国立博物館・NHK共同研究「みんなの8K文化財」プロジェクト デジタル調査会の様子 ▲

貸与促進担当

国立博物館は、従来から収蔵品を自らの施設で展示公開するだけでなく、外部のミュージアムにも貸与し、国内外の展覧会に協力してきた。〈ぶんかつ〉は、日本とアジアの歴史・文化をよりいっそう広く伝えるため、国立博物館の収蔵品貸与の促進に取り組む。

貸与促進事業

実施館
5件

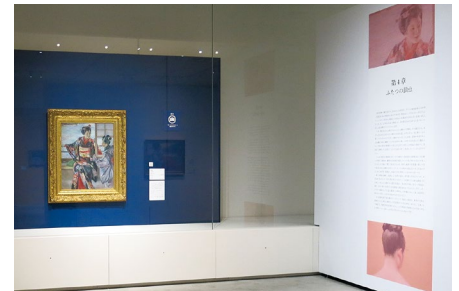
貸与件数
89件

来場者数
21,193人

国立博物館と共同で、日本とアジアの歴史・伝統文化の発信ならびに地方創生・観光振興、次世代への文化財の継承に寄与することを目的として、国内各地のミュージアムに対して国立博物館の収蔵品を貸し出し、それにかかる作品輸送費等を支出する「国立博物館収蔵品貸与促進事業」を実施した。

この事業は、2017年度に東京国立博物館が開始したもので、2018年度開催分から文化財活用センターとの共同事業となった。

2021年度からは、京都国立博物館、奈良国立博物館、九州国立博物館収蔵の文化財も対象となり、やないづ町立斎藤清美術館等5施設に、4つの国立博物館から計89件の文化財を貸与、総計21,193人の方が鑑賞の機会を得た。大規模貸与の対象となった佐賀県立美術館については、交通広告等広報支援も行った。また、収蔵品の貸与促進を図る新たな取り組みとして、貸し出し可能な文化財を一覧化した「貸与可能作品リスト」（日本考古資料、黒田清輝作品）を作成し、申請要項に掲出を開始した。



佐賀県立美術館「白馬、翔びたつ
—黒田清輝と岡田三郎助—」展示風景

実施館	やないづ町立斎藤清美術館（福島県）
展覧会名称	「斎藤清とハニワ！」
会期	2021年4月24日～6月6日
貸与件数	7件
来場者数	1,534人
満足度	—



実施館	佐賀県立美術館（佐賀県）
展覧会名称	「白馬、翔びたつ —黒田清輝と岡田三郎助—」
会期	2021年9月7日～10月17日
貸与件数	22件
来場者数	7,699人
満足度	93.5%



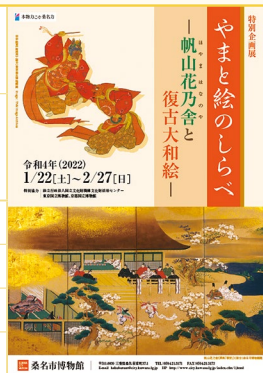
実施館	奈良県立美術館（奈良県）
展覧会名称	「生誕200周年記念 森川杜園展」
会期	2021年9月23日～11月14日
貸与件数	24件
来場者数	8,281人
満足度	90.9%



実施館	那覇市立壺屋焼物博物館（沖縄県）
展覧会名称	「うちなー赤瓦ものがたり」
会期	2021年11月2日～12月26日
貸与件数	18件
来場者数	2,873人
満足度	92.3%



実施館	桑名市博物館（三重県）
展覧会名称	「やまと絵のしらべ —帆山花乃舎と復古大和絵—」
会期	2022年1月22日～2月27日
貸与件数	18件
来場者数	806人
満足度	92.9%



保存担当

博物館や美術館等、文化財保存施設における、展示・収蔵環境管理に関する相談対応、改善のための調査、技術支援、また、研修会や講習会の開催などを通じて、質の高い文化財の保存と活用の両立に寄与する。

対応件数
229件

■ 保存環境に関する相談対応、調査協力など

博物館・美術館等からの展示・収蔵環境に関する相談に対応し、必要に応じて現地調査、改善のための協力を行った。また、文化財保護法53条に基づく、所有者以外による国指定品の公開を予定している博物館・美術館を対象とした保存環境調査について、文化庁からの協力依頼を受けて行った。さらに、文化財施設や所有者などからの新型コロナウイルス感染対策に関する相談対応を、文化庁および東京文化財研究所と共同で行った。



歴史的建造物内の環境調査協力

● 内容等

- 文化財の保存環境管理、改善に関する相談対応(163件 うち20件に対して現地調査を実施)
- 新築・増改築を行う施設の設計、設備等に関する対面、またはリモートでの協議(9件)
- 国指定品の所有者以外による公開に関わる資料保存環境調査(対応件数42件)
- 公開承認施設申請に係る環境調査や改善への助言(10件)
- 令和4年度貸与促進事業内定施設の保存環境調査(2件)
- 新型コロナウイルス感染対策に関する相談対応(9件 うち3件についてぶんかつが対応)

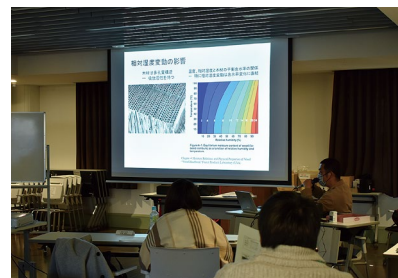
■ 保存環境に関する研修会等人材育成事業

学芸員や自治体の文化財行政担当者に、文化財保存施設における環境管理の基礎を学んでいただくことを趣旨とした「博物館・美術館等保存担当学芸員研修(基礎コース)」、および、保存管理専従者や、文化財保存の研究者などを対象とした、環境調査や管理に関する深い知識を学ぶための「保存環境調査・管理に関する講習会」をそれぞれ開催した。

① 文化財活用センター主催による研修会等

研修会等	博物館・美術館等保存担当学芸員研修(基礎コース)
主催	文化財活用センター
参加者数	21名
期間	2022年1月17日～1月21日

研修会等	第3回保存環境調査・管理に関する講習会 「空気清浄化のための化学物質吸着剤」
主催	文化財活用センター、東京文化財研究所
参加者数	28名(うち20名リモート参加)
期間	2022年1月31日



博物館・美術館等保存担当学芸員研修(基礎コース)の様子

② 論文等業績

1. “代替消毒法に用いられる製品からの揮発性物質が文化財へ与える影響についての調査事例”(間淵創、吉田直人)
保存科学61号(東京文化財研究所)
2. “博物館・美術館におけるカビのモニタリングとリスク低減の実践”(間淵創)
博物館研究643号(公益財団法人 日本博物館協会)
3. “4年目を迎えた文化財活用センター保存担当の活動と課題”(吉田直人)
文化財の虫菌害82号(公益財団法人 文化財虫菌害研究所)

デジタル資源担当

機構各施設の保有する文化財に関わるテキスト、画像といった情報を連携させ、デジタル資源化を推進するとともに、情報の利活用を促進する。

文化財のデジタル資源化の推進と国内外への情報発信

① ColBase (国立文化財機構所蔵品統合検索システム)

「ColBase」各施設の管理区分である従来の「分類」とは別に、個々の作品をより適切に表現するための「作品種別」を導入し、一般のユーザにとってわかりやすい種別用語を各施設の研究者と協議して整備した。また東京国立博物館の所蔵品について「作品種別」データの作成、公開を開始した。

●掲載件数 (2022年3月末)

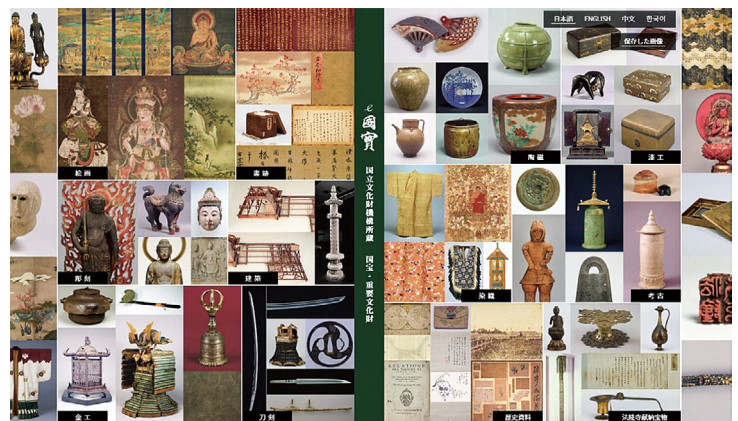
	日本語	英語	中国語	韓国語
総件数 (総作品数)	134,578 (144,577)	33,376 (37,946)	10,937 (12,484)	11,416 (12,933)
解説掲載件数	14,178	5,540	4,011	4,037
画像掲載件数 (※1)	26,005	17,667	5,904	5,947

※1 2021年度画像追加件数:7,445件 27,620枚

② e国宝 (国立文化財機構所蔵 国宝・重要文化財 デジタル高精細画像)

e国宝の高精細画像について、国際標準であるIIIF (International Image Interoperability Framework) を用いた表示ができる機能を追加した。またYouTubeに動画がある作品について、ページ内に動画を埋め込み、見やすくした。

アクセス数	650,197件	(2022年3月末)
掲載件数	1,137件	(2022年3月末)



総務担当

企業、各種団体、および広く一般の個人を対象としたファンドレイジング活動を通して、多くの人が文化財に親しみをもつとともに、文化財の保存と活用に参画する機会を創出する。

ファンドレイジング事業

① 寄附ポータルサイトの運営

機構各施設の寄附事業や会員制度などの情報を集約したサイト「国立文化財機構寄附ポータルサイト」を継続して運営するとともに、銀行振込での寄附受入整備、遺贈に関する案内ページなどを新設した。さらに、サイトの構造や掲載情報・画像の整理を行い利便性の向上に努めた。

国立文化財機構寄附ポータルサイト	2021年度寄附金額 4,049,000円 (開設からの総計 5,964,000円)
------------------	---



国立文化財機構寄附ポータルサイト
トップページ

② <冬木小袖>修理プロジェクト

東京国立博物館と共同で重要文化財「小袖 白綾地秋草模様（通称<冬木小袖>）」の修理費等1,500万円を募る事業（2020年1月開始）を継続して実施した。寄附ポータルサイト、館内募金箱、企業協賛などの寄附により、当初の予定より1年早く目標金額を達成し、募集期間を半年繰り上げて12月末をもって寄附受入を終了した。また、引き続き修理の進捗等をブログやSNS、寄附者向けのメールマガジンなどを通じて発信していく。



<冬木小袖>修理プロジェクト
目標金額達成御礼を伝える動画を配信

<冬木小袖>修理プロジェクト 2021年度寄附金額 3,759,040円（～12月31日）
（プロジェクト総計16,451,470円）

③ 公開シンポジウム

ぶんかつ3周年を記念して開催した2021年度公開シンポジウムは、全面オンラインで実施した。ミュージアムが行うファンドレイジングのあり方、博物館の運営や施設改修、収蔵品修理等の資金獲得を目指す取組をとりあげ、基調講演・事例報告・ディスカッションを通じて情報提供をした。

ぶんかつ3周年記念2021年度公開シンポジウム「ミュージアムをめぐるファンドレイジング」

日時 2022年2月10日（木）13:00～16:00

主催 文化財活用センター

共催 公益財団法人日本博物館協会

アンケート 満足度：89.2%（大変満足した、満足した）

概要 非営利セクターであるミュージアムが外部から支援を得て館の活動を継続・発展していくことの意味について考えるとともに、多様なファンドレイジング活動に取り組むミュージアムから活動に込めた想いや現状を共有いただきながら目指すべき姿を探る

内容

● 基調講演

「博物館とファンドレイジングのあり方」

半田 昌之（公益財団法人日本博物館協会 専務理事）

● 事例報告

「ファンドレイジングを通じた文化財への親しみの創出」

古山 珠美（文化財活用センター 渉外・ファンドレイジング担当）

「ファンドレイジングにおける多様なツールの活用とコミュニケーション」

中島 徹（独立行政法人国立科学博物館科学系博物館イノベーションセンター マーケティング・コンテンツグループ長）

「『リビングルームのような美術館』を実現するための『無料観覧デー』の設計」

保坂 健二郎（滋賀県立美術館 ディレクター（館長））

「公開なくして大原美術館はないークラウドファンディングの成果とその後」

柳沢 秀行（公益財団法人大原美術館 学芸統括）

● 発表者によるディスカッション

モデレーター：小林 牧（文化財活用センター 副センター長）



公開シンポジウム配信会場の様子

広報実績

(集計期間2021年4月1日～2022年3月31日)

ぶんかつウェブサイト (<https://cpcp.nich.go.jp/>)

ページビュー数 229,809 (セッション数:114,951)

閲覧数の多いページ

1	トップページ	9.36%
2	〈冬木小袖〉修理プロジェクト	7.46%
3	「春夏秋冬 乃木坂46」来場者アンケート	5.24%
4	春夏秋冬／フォーシーズンズ 乃木坂46	2.98%
5	展示・イベント	2.87%

訪問者言語

日本語	94.0%
英語	4.3%
その他	1.7%

主な更新事項

- トップページに開催中事業の紹介枠を追加

ぶんかつブログ (<https://cpcp.nich.go.jp/modules/rblog/1/>)

進行中の事業や活動の舞台裏、文化財にまつわる基礎知識などを各担当のスタッフが紹介。

投稿一覧 (2021年4月～2022年3月 35件)

- 1 2021年度貸与促進事業の展覧会5つをご紹介
- 2 発見から130年。東城寺経塚資料が地元・土浦に里帰り
- 3 なりきりOPAMの楽しみ方 (後編)
- 4 〈冬木小袖〉修理プロジェクト 返礼品が新登場! (前編)
- 5 〈冬木小袖〉修理プロジェクト 返礼品が新登場! (後編)
- 6 ColBaseで「あつ森」を楽しもう! 鳥獣戯画編
- 7 ColBaseで「あつ森」を楽しもう! 国際ミュージアムデー編
- 8 半世紀以上の時を超えた出会い。「斎藤清とハニワ!」
- 9 文化財資料の新たな活用 ほんもの複製の相乗効果
- 10 常設展示「日本美術のとびら」がトーハク本館にオープン!
- 11 ぶんかつセンター長から3周年によせて
- 12 ぶんかつ企画担当から3周年によせて
- 13 ぶんかつ総務担当から3周年によせて
- 14 ぶんかつデジタル資源担当から3周年によせて
- 15 ぶんかつ保存担当から3周年によせて
- 16 ぶんかつ貸与促進担当から3周年によせて
- 17 〈冬木小袖〉の修理が始まりました
- 18 夏休みは、なりきり@山口
- 19 インタラクティブに日本美術を楽しめる体験型デジタル年表
- 20 〈冬木小袖〉修理レポート・2【解体作業】
- 21 〈春夏秋冬／フォーシーズンズ 乃木坂46〉展覧会と図録の楽しみ方
- 22 黒田清輝と岡田三郎助。二人の交流の軌跡を佐賀で辿る
- 23 マルチな異才・森川杜園。生誕200周年に名品集う
- 24 「あつ森」で考える、ゲームの学術的な可能性
- 25 愛知県陶磁美術館で、やきものを味わい尽くす
- 26 床の間で鑑賞する国宝掛軸の高精細複製
- 27 8Kモニターと懐中電灯で、仏像調査を体験してみませんか?
- 28 瓦の歴史ものがたり。沖縄の瓦が「赤」をまとうまで
- 29 〈冬木小袖〉修理レポート・3【補修作業】
- 30 高精細複製品と照明演出による屏風の新たな鑑賞体験
- 31 博物館・美術館等保存担当学芸員研修 (基礎コース) スタート
- 32 桑名で奏でる「やまと絵のしらべ」展
- 33 e国宝が「IIIIF (トリプルアイエフ)」に対応しました
- 34 ぶんかつアウトリーチプログラム コロナ禍での工夫
- 35 「ミュージアムをめぐるファンドレイジング」シンポジウム開催報告

SNS発信

ぶんかつや機構内他機関の展示・イベント、研修等、旬な情報を、SNSを活用して発信

- Twitter@cpcp_nich
…2,013フォロワー (+261) / 総ツイート数 948※RT含
 - Instagram@cpcp_nich
…408フォロワー (+99) / 総投稿数 234
 - YouTube ぶんかつ【文化財活用センター】
…チャンネル登録者数 476人 (+132) / 総投稿数 20
- * ()内は2020年度との比較

プレスリリース配信・記者内覧会等の実施

プレスリリース配信 (8件)

- 1 2021年4月27日 〈冬木小袖〉修理プロジェクト—新たな返礼品「江戸の手しごと・伝統工芸品」が登場—
- 2 2021年6月21日 遊びながら美術に親しむ体験展示室、トーハクに誕生! 体験展示「日本美術のとびら」東京国立博物館 本館特別3室

- 3 2021年7月5日 〈冬木小袖〉修理プロジェクト—1,500万円の目標達成! みんなの寄附で文化財を修理—
- 4 2021年7月12日 日本美術と乃木坂46の融合、過去と現代を結ぶ展覧会「春夏秋冬／フォーシーズンズ 乃木坂46」開催決定<会期:2021年9月4日(土)～11月28日(日)会場:東京国立博物館 表慶館>
- 5 2021年11月1日 東京国立博物館・シャープ株式会社との共同研究による実証実験「8Kで文化財 みほとけ調査」東京国立博物館にて開催 (期間:11月16日～12月5日)
- 6 2021年12月22日 ぶんかつ3周年記念 2021年度公開シンポジウム「ミュージアムをめぐるファンドレイジング」オンラインにて開催
- 7 2022年1月11日 地域ゆかりの国立博物館収蔵品を全国の美術館・博物館へ! 令和5(2023)年度 国立博物館収蔵品貸与促進事業 実施対象館募集開始
- 8 2022年3月22日 2022(令和4)年度国立博物館収蔵品貸与促進事業 実施対象館が決定 国立博物館所蔵の文化財113件が 愛知・島根・栃木・鹿児島・滋賀・沖縄に里帰り!

記者内覧会等の実施 (3件)

- 1 2021年6月21日 体験展示「日本美術のとびら」 記者内覧会
- 2 2021年9月2日 春夏秋冬／フォーシーズンズ 乃木坂46 記者内覧会
- 3 2021年11月15日 8Kで文化財 みほとけ調査 記者内覧会

動画制作 (9件)

YouTubeぶんかつ【文化財活用センター】チャンネル (<https://www.youtube.com/c/cpcpnich/channels>)にて公開。

- 1 2021年7月5日 【〈冬木小袖〉修理プロジェクト】御礼! 目標金額達成しました!
- 2 2021年8月23日 【予告編】日本美術と乃木坂46のコラボレーション、過去と現代を結ぶ展覧会 (東京国立博物館 表慶館にて9/4開幕) (会期末に非公開)
- 3 2021年10月20日 【展覧会紹介】春夏秋冬／フォーシーズンズ 乃木坂46 [東京国立博物館にて、2021年11月28日まで開催]
- 4 2021年11月1日 8Kで文化財「みほとけ調査」東京国立博物館にて開催 (2021/11/16～12/5)
- 5 2021年11月15日 【みほとけ雑談】第1回 仏像調査の7つ道具 筆頭 はライト! (音声のみ)
- 6 2021年11月15日 【みほとけ雑談】第2回 日本の仏像 納入品発見!? 研究員のワクワクと畏れ (音声のみ)
- 7 2021年11月15日 【みほとけ雑談】第3回 中国の仏像 このみほとけがトーハクにある奇跡 (音声のみ)
- 8 2021年11月15日 【みほとけ雑談】最終回 ガンダーラの仏像 菩薩は菩薩でもなに菩薩? 研究員の永遠の課題 (音声のみ)
- 9 2022年3月4日 【2021年度公開シンポジウム】ミュージアムをめぐるファンドレイジング (2022年2月10日開催)

パンフレット・チラシ等、印刷物制作 (7件)

- 1 文化財活用センターパンフレット【パンフレット】
- 2 文化財活用センター事業報告書 2020年度【報告書】
- 3 2022年度ぶんかつアウトリーチプログラム募集【チラシ】
- 4 2020年度ぶんかつアウトリーチプログラム報告書【報告書】
- 5 令和5年(2023) 国立博物館収蔵品貸与促進事業実施対象館募集【チラシ】
- 6 2021年度公開シンポジウム「ミュージアムをめぐるファンドレイジング」【チラシ】

地域での広報

貸与促進事業実施館地域でのポスター掲出【有料広告】

実施館 : 佐賀県立美術館

掲出媒体等 : 西鉄高速バスターミナル デジタルサイネージ (9月13日～10月13日)、「るるぶFREE福岡」Vol.52夏秋号(※)、「ぶらぶら美術・博物館プレミアムアートブック」2021-2022(※)、「美術手帖」2021年10月号(※)、「美術の窓」10月号(※)
(※)は、文化財活用センターから支出された広報費による掲出

職員

文化財活用センター長 旭 充
副センター長 小林 牧

企画担当

(兼)課長 小林 牧
室長 高橋 美奈子
研究員 高橋 真作
研究員 西木 政統
研究員 小島 有紀子
松嶋 雅人
川岸 瀬里
高木 結美
松沼 穂積
加納 彩子
清水 澄子

専門職

専門職

アソシエイトフェロー

事務補佐員

貸与促進担当

課長 沖松 健次郎
室長 品川 欣也
室長 皿井 舞
研究員 福島 修
関 紀子
専門職 田邊 留美子
アソシエイトフェロー 曾田 めぐみ

デジタル資源担当

課長 村田 良二
(併任)室長 阿児 雄之
(併任)室長 二神 葉子
専門職 竹内 俊貴
事務補佐員 川合 加容子

保存担当

課長 吉田 直人
研究員 間瀬 創
野中 昭美
木下 美緒
事務補佐員
総務担当
課長 坂本 真樹
係長 田村 淳朗
係員 中東 達矢
専門職員 古山 珠美
事務補佐員 矢野 梓 (～2021年8月15日)
事務補佐員 村山 舞子 (2021年5月1日～)

文化財活用センター事業報告書 2021年度

発行日 令和4年(2022)7月31日

編集・発行 独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9(東京国立博物館 東洋館5階)

デザイン・印刷 大協印刷株式会社